

トイレが変わる、トイレで変わる

学校トイレの 挑戦!

トイレのダイバーシティ&
バリアフリー

トイレの多様化を考える

学校トイレ アイデアプラン

乾式トイレの清掃方法を見直そう!

学校トイレの最新現場事例

最新全国自治体アンケート調査報告2022

バリアフリー対策に加え、 多様化する学校トイレ

「じゃあこやい」

このたび、学校のトイレ研究会事務局長に就任しました富岡です。新体制となり、1996年の設立から培ってきた研究成果や知見を継承しつつ、新たな視点からの価値創造にも取り組んでまいりたいと考えております。よろしくお願いたします。

学校は長年にわたり、老朽化や災害対策、感染対策など、次々と新たな施設整備が求められてきました。その中で、昨年実施した全国自治体アンケート調査では、「学校で改善が必要な場所」の1位が「トイレ」で、7年前から5ポイント上回る結果となり、改善は進められているものの、老朽化のスピードに追いついていない実態が続いていることが浮き彫りとなりました。

現在、文部科学省では、校舎や屋内運動場のバリアフリー化の加速や、インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進が掲げられ、子どもたちや地域の方が利用されるトイレにおいても、多様性を尊重し、安心安全に利用できる環境が求められています。

そこで今号では、「ダイバーシティ」をテーマに多様な利用者のニーズに対応できる学校トイレのあり方を考察するため、調査結果や取り組み事例、アイデアプランを紹介しています。

性別、年齢、障がいの有無にかかわらず、すべての人が不自由なく利用できるトイレ空間の実現は容易ではありません。しかし、多様な利用者の特性を理解して包含し、将来的なことも見据えて柔軟に対応できる仕掛けをプラスしていくことは、今後の学校トイレ整備に欠かせない要素になると考えます。

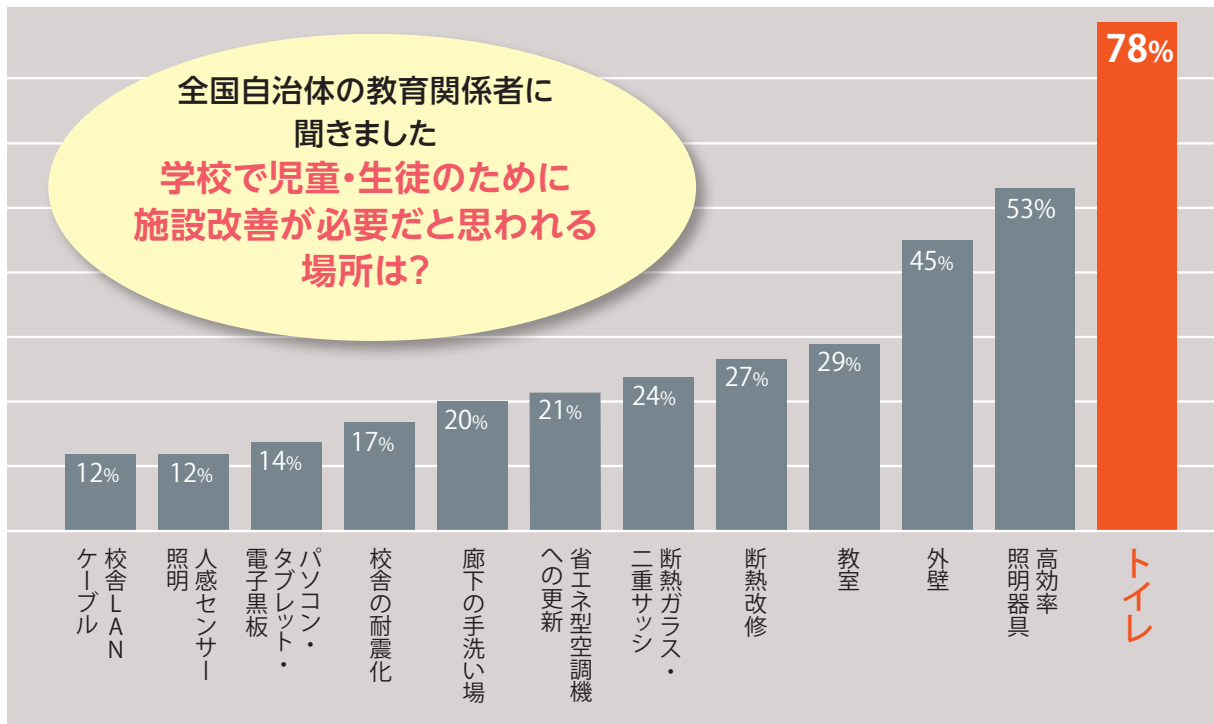
学校のトイレ研究会はこれからも、学校現場に関わる方の声を丁寧につなぎながら、参加企業で連携して活動を進化させてまいります。皆様方には今後ともより一層のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

学校のトイレ研究会 事務局長

富岡 千花子



学校の施設改善が必要な場所は変わらず「トイレ」がトップ



「2022年度全国自治体アンケート調査」より n=103(複数回答) *データの詳細は12ページの「最新全国自治体アンケート調査報告2022」を参照ください。

CONTENTS

▶学校トイレの最新現場事例

- 3 金沢市立犀桜小学校(石川県)
- 8 嘉麻市立稲築東義務教育学校(福岡県)
- 16 大津市立田上小学校(滋賀県)
- 18 大口北防災センター(愛知県)
- 23 笠松町立笠松中学校(岐阜県)

▶トイレのダイバーシティ&バリアフリー

- 7 トイレの多様化を考える
～学校トイレに求められるものとは?～
- 15 枚方市の学校トイレ整備への取り組み
- 27 学校トイレ アイデアプラン

▶学校トイレアンケート調査

- 12 最新全国自治体アンケート調査報告2022
バリアフリー対策に加え、多様化する学校トイレ
- ▶トイレ清掃
- 20 乾式トイレの清掃方法を見直そう!



3階分散型男子トイレ内。さまざまな利用者に対応できるよう、広いスペースの個室を確保した。

学校
トイレ事例
01
新築

石川県金沢市

金沢市立犀桜さいおう小学校

「恥ずかしいことじゃない」
トイレから発信する多様性

大きさ、場所……

いろんな形のトイレを用意

『わあ、きれい！』子どもたちが新校舎に初めて登校した日、トイレの前ではしゃぐ様子を見て、こちらもうれしくなりました」

そう話すのは、犀桜小学校の前田みどり教頭先生です。

2022年3月、新野町小学校と菊川町小学校を統合した、犀桜小学校の新校舎が完成しました。二つの学校が合併したのは、金沢市内、特に中心部の児童数が減少していたことが大きな要因です。新野町小学校に関しては、学級が全体で6クラスにまで縮小してしまっていたといいます。

学校の規模が小さくなると、多様な考え方に触れる機会が減り、人間関係も固定化してしまう恐れがあります。金沢市は、これらの問題を解消するため、統合という決断に至りました。

インクルーシブ教育の二環として、新しい学校では普通教室の他、1階に通級教室、2・3階には特別支援教室が設けられてい

ます。

さらに、支援を要する子どもたちが、できるだけ自力で近くのトイレを利用できるように、各階にバリアフリートイレを設置しました。バリアフリートイレには、オストメイトに対応した設備も備えています。

金沢市教育委員会教育総務課（取材時）の杉下裕治さんは「年齢や性別、身体状況などが制約になったり、トイレを心理的な負担に感じたりしないようにしなければなりません」と言います。

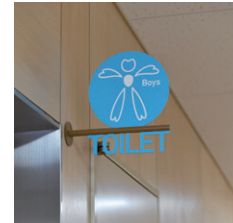
**集中型と分散型の
トイレで多様性に配慮**

犀桜小学校では、ダイバーシティの観点から、年齢や性別、身体状況などにかかわらず、誰もがアクセスしやすく、安心して過ごせるトイレ空間を目指しています。

トイレの配置についても、男女別トイレとバリアフリートイレを1カ所に集めた集中型の他、男女別トイレを普通教室の端と端に設置した分散型が同じフロアに存在します。学校内なるべく



3階分散型男子トイレ。小便器は床の清掃性に優れた低リップタイプの壁掛自動洗浄小便器。



(左上) 男子トイレのサイン。(右上) 女子トイレのサイン。(左) 学校の校章。犀桜小学校の学校名にも含まれている「桜」をモチーフにデザイン。桜のモチーフは、エレベーターホールのサインなど、いろいろなところにあしらわれている。



3階分散型男子トイレ内、入り口付近の掃除用流し。男女別トイレ、バリアフリートイレ共に、木目調で統一感のあるデザインに仕上げた。



3階オープンスペース。中央の柱には、県産材の木が活用されている。

「排せつをしたくない」といった考えも『恥ずかしいものではないよ』と伝えてあげられるような、トイレ計画が大切だと考えています」

バリアフリートイレの他、分散型の男女別トイレには、一般的な広さの大便器ブースだけでなく、かなりゆつたりとスペースを取った個室トイレも用意しています。支援が必要な児童はもちろん、けがをして松葉杖を使うことになった子どもも使えるようにと設置しました。ブース内には、手すりも設けられています。

「いつ、どういった個性を持つ子どもが、何人入学してくるのか

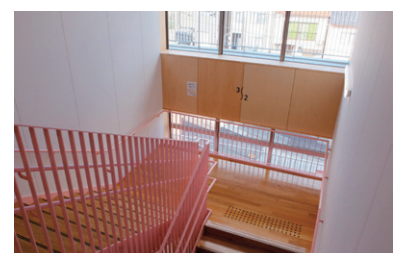


3階分散型女子トイレ内広め個室。けがをしたときを想定し、手すりを設けた。

「排せつをしたくない」といった考えも『恥ずかしいものではないよ』と伝えてあげられるような、トイレ計画が大切だと考えています」

バリアフリートイレの他、分散型の男女別トイレには、一般的な広さの大便器ブースだけでなく、かなりゆつたりとスペースを取った個室トイレも用意しています。支援が必要な児童はもちろん、けがをして松葉杖を使うことになった子どもも使えるようにと設置しました。ブース内には、手すりも設けられています。

「いつ、どういった個性を持つ子どもが、何人入学してくるのか



校舎の至るところにガラス張りの窓を設置し、光をたくさん取り込む工夫をしている。

3階バリアフリートイレ。オストメイトに配慮した設備や、手すりを備えた。



(上)3階男子更衣室。体育やプールの授業の際に利用する。(下)バリアフリートイレのサイン。ピクトの顔に当たる部分を桜の花びらに見立てている。トイレのドアは自動開閉式。



3階集中型のバリアフリートイレと男女別トイレの入り口。バリアフリートイレは、廊下から容易に入れるよう動線を配慮。



3階集中型女子トイレ。明るい光が差し込み、清潔感あふれる空間。



木のぬくもりが感じられる校舎からは、時折、児童たちの楽しそうな会話が聞こえてくる。



3階集中型女子トイレ内手洗いスペース。発電タイプの自動水栓を採用。



男子トイレ。校舎内の大便器はすべて温水洗浄便座と発電タイプの電波式リモコン。

防災に強い 学校施設を目指して

の児童への配慮が、随所にちりばめられています。

犀桜小学校の前には犀川が流れています。大きな水害が発生したときに備え、備蓄倉庫は2階に設置しました。万が一、1階部分が浸水してしまっても、バリアフリートイレは2階、3階にもあるので安心です。なお、学校が避難所となった際には、管理シャッターを下ろせば、教室側と避難所側とで区画を分けることができ、バリアフリートイレは避難所側に含まれるよう設計されています。

金沢市は現在、「木の文化都市・金沢」を掲げています。そこで、犀桜小学校でも、校舎の至るところに木のぬくもりが感じら

れるデザインを施しました。一部は、県産材の木が活用されています。トイレも同様に、壁材などを木目調のテイストで仕上げました。ジェンダーの観点から「男は青、女は赤」とせず、男女別トイレ、バリアフリートイレも、あえて区別のない内装を採用しています。入り口のサインだけは、視認性のために柔らかな色で着色しました。

新しいトイレは児童たちにも好評で「汚したり、いたずらをしたリするような子はいない」と、辻和久校長先生は語ります。

「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉を大切にして、教育に当たっています。トイレに関しては、二つ目の『場を清め』が該当すると思うのですが、とても大切に思っていると感じますね」



1階体育館トイレ。避難所としても利用される体育館のバリアフリートイレは、乳幼児連れに配慮し、ベビーシートやベビーチェア、フィッティングボードも設置。



左より前田みどり教頭先生、辻和久校長先生、杉下裕治さん(金沢市教育委員会教育総務課/取材時)。



写真奥に見えるのは、体育館トイレの入り口。黒いサインが目印。



学校敷地内には、災害時に備えてマンホールトイレも設置されている。



体育館男子トイレ。さまざまな利用を想定し、男子トイレ内にもベビーチェアを配置した。



屋上プール。災害時にはマンホールトイレの洗浄水として利用される。



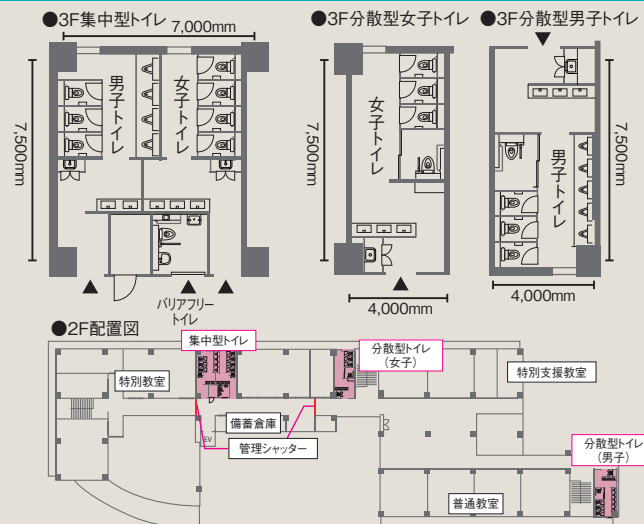
児童が作成した「地いきマップ」。危ない場所、安全な場所が記されている。



図書室。大きなガラス張りからは、犀川方面を見渡すことができる。明るく、自然の光をたっぷり取り込むことのできる室内は、読書環境にも最適。

金沢市立犀桜小学校 DATA

名称：金沢市立犀桜小学校
 所在地：石川県金沢市菊川1-2-15
 児童数：338名(2023年5月)
 施主：金沢市
 設計・監理：大屋設計(建築)、ムラシマ事務所(設備)
 施工：[建築]みづほ・橘・フレックスJV
 [設備]ムラモト・東亜JV(電気)
 日栄・テックJV(給排水)
 サリック(空調)
 竣工年月：2022年3月



「集中型トイレ」は、特別教室からの動線を考慮して位置を決定。災害時は管理シャッターで区画し、避難所として開放できる。児童や教職員が安心して利用できるよう、普通教室側の「分散型トイレ」内にも広めの個室が設けられた。

トイレの多様化を考える

～学校トイレに求められるものとは？～

多様な利用者とニーズのための バリアフリー&ダイバーシティ

文部科学省の「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」(2022年3月)によれば、インクルーシブ教育システムを構築する上でも、学校施設のバリアフリー化を進め、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れていく必要があるとされています。

性同一性に不安や悩みを抱える性的マイノリティの児童・生徒がニーズに応じて自由に選べるトイレ、さらには特別支援学級や通級指導教室の児童・生徒の排せつ指導に対応した広さのバリアフリートイレなど、多様な利用目的に応じ、各階・各棟に必要な数を計画することの重要性が述べられています。

衛生的環境の前提となるのは、もちろん洋式・乾式化であり、手洗いの非接触化です。災害時には障がいのある幼児や家族、地域の障がい者や高齢者など、より幅広い要配慮者が利用することを踏まえた施設の見直しが求められているのです。

・文部科学省のバリアフリートイレの実態調査(2022年度)によれば、校舎で70.4%、体育館で41.9%という実績が出ています(図表上)。

・公立小・中学校のバリアフリー化進展状況は、校舎・体育館とも上位と下位の都道府県でかなりの差があることがわかります(図表中)。

・バリアフリートイレの設置について重視すべきことをまとめたアンケート結果によると、さまざまな配慮が必要とされていることがわかりました(図表下)。



各階に設置されたバリアフリートイレ。ドアは自動開閉式(5ペーン金沢市立犀枝小学校参照)。



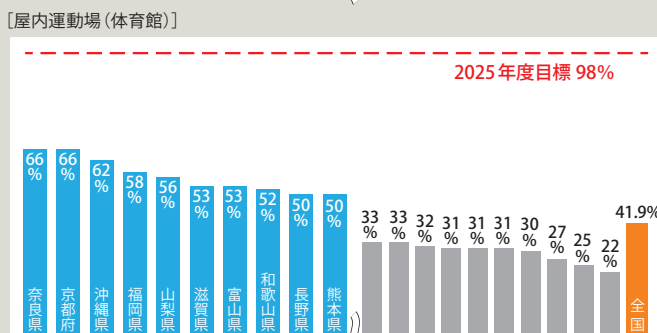
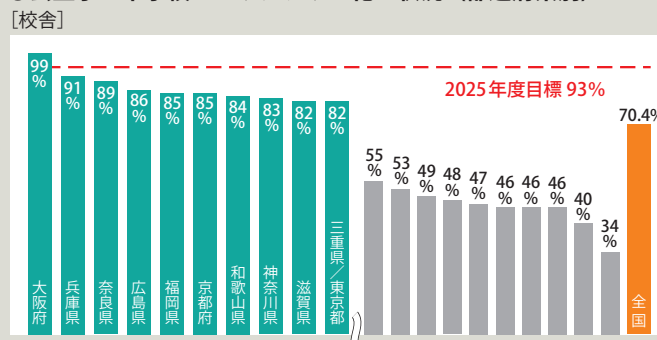
男女の入り口を分けて、利用シーンの変化に対応したトイレ(8ペーン、嘉麻市立稲葉東義務教育学校参照)。

●文部科学省 学校施設のバリアフリー化整備目標

対象	2020年度	2022年度	2025年度までの整備目標	
バリアフリートイレ	校舎	65.2%	70.4%	避難所指定のすべての学校に整備約93%*
	屋内運動場(体育館)	36.9%	41.9%	避難所指定のすべての学校に整備約98%*

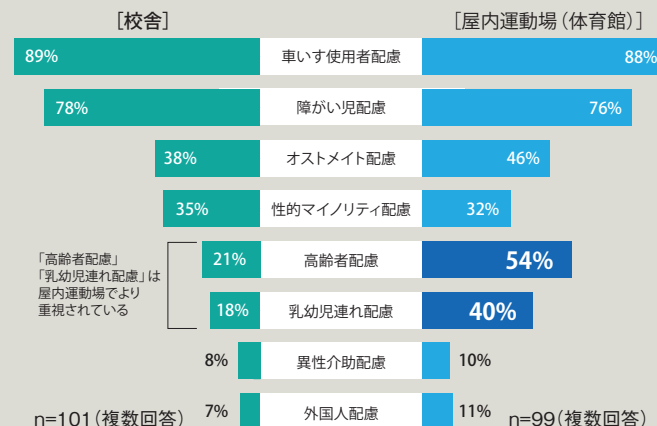
出典：文部科学省「学校施設のバリアフリー化に関する実態調査 調査結果のポイント」(2022.12)をもとに作成
*2022年度調査時点

●公立小・中学校のバリアフリー化の状況(都道府県別)



*47都道府県の上位10と下位10のみ数値を表記し、上位のみ都道府県名を表記した。
出典：文部科学省「学校施設のバリアフリー化に関する実態調査 調査結果」(2022.12)をもとに作成

●さまざまな利用者が想定されるバリアフリートイレの設置において重視すべきと思われることは？



出典：2022年度全国自治体アンケート調査



全学年が利用する2階には、個室仕様のトイレを配置。当面は男女別のトイレとして運用予定だが、センターのスライド式の壁を開放すれば、性別に関係なく使用できるトイレにもなる。

学校
トイレ事例
02
新築

福岡県嘉麻市

嘉麻市立稲築東義務教育学校

多様な人材を育てる
これからのトイレのあり方

嘉麻市に
義務教育学校が誕生

かつて、福岡県嘉麻市は石炭の産地として栄えていました。

しかし、時代とともに石炭が使われなくなっていく、それと比例するように、嘉麻市の人口もどんどん減ってしまつたといえます。児童・生徒数が減少する中、学校教育の現場では、学校規模の適正化や、日々進化していく教育活動に対応可能な学校施設の整備という課題が生じていました。

また、嘉麻市では、小・中学校の半数以上が築40年以上経過していました。施設の老朽化対策も喫緊の課題となる中、これからの学校施設のあり方についてさまざまな可能性を検討した結果、小学校と中学校の校舎を一つにした、施設一体型義務教育学校をつくることを決めたのです。

一人の校長のもと、一つの教職員組織で、9年間の教育を実施する稲築東義務教育学校では、学年間の交流が促進されるよう、さまざまな仕掛けが施されています。

ています。

校舎全体の設計としては、1階には低学年（1～4年生）、3階には中学年（5～7年生）と高学年（8～9年生）のクラスルームを配置。そして、校舎の中央階に当たる2階には、全学年が利用する図書室と特別教室を配置した「メディアアコモンス」を計画しました。2階に配置することで、日常的に、他学年と顔を合わせられるようにしています。

1階から3階をつなぐ吹き抜けは、校舎の特徴的なデザインです。1階の中心部には発表ステージを設け、上階からも何が開催されているのかを確認することが出来ます。また、発表ステージ付近の壁は一面ホワイトボードになっており、板書や掲示、プロジェクトによる映写などに対応しています。

未来を見据えた
トイレ設計

トイレにも、たくさん工夫を凝らしました。

まず、2階には、天井まで仕切られた個室仕様のトイレ。さらに、

2階個室トイレとバリアフリートイレ入り口。段差をなくし、さまざまな人が利用しやすいように配慮した。



2階トイレ。個室には擬音装置も設けた。



1階女子トイレ入り口。光をたくさん取り込み、明るいトイレに仕上げた。



1階男子トイレ。小便器は床の清掃性に優れた壁掛自動洗浄小便器。



特別支援教室付近には、手洗いでなく手洗いだけでなくシャワー室も設置した。



2階バリアフリートイレ。オストメイトに対応した設備の他、手すりも設けた。大便器は温水洗浄便座。



1階発表ステージ。休み時間の間は、児童・生徒が段差に腰掛けて談笑したり、活発に往来したりする。



3階ホール手洗いコーナー。中学年 commons のスペースに手洗いとトイレが一体化している。



山本匡貴さん(嘉麻市教育委員会教育総務課)。

トイレを男女に分けるセンター位置には、スライド式の壁を設けました。現在は、男女別トイレとして閉めたままの運用を予定していますが、将来、その壁を開放することで、性別に関係なく、誰もが使えるトイレにもなります。

設計を担当した久米設計の野原春花さんは「時代が流れたときに、ハード面が置いてけぼりにならないように配慮しました」と話します。

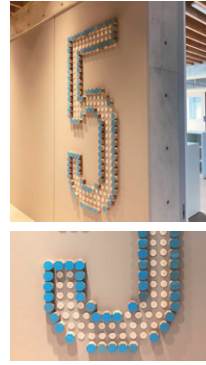
今後、運用方法が変更になることを見据えて、トイレのサインも取り外しが可能です。久米設計の野原啓司さんも「統合前の稲築東中学校は、美術部が盛んであり、将来は、有志の児童・生徒たちで、学校のサインをつくってもらえたらと思います」と語ります。

ジェンダーの観点から、トイレ内の色彩も「男は青、女は赤」とせずに、やわらかいグリーンやイエローを床材に採用する程度にとどめました。

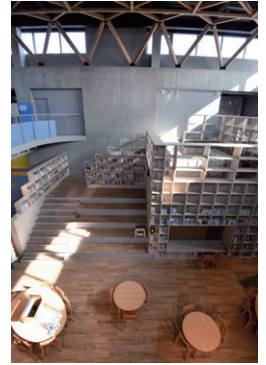
特別支援教室は、成長過程に合わせて1階と3階に配置。また、機能性を考慮し、バリアフリートイレとシャワー室を隣接して配置しました。災害時、避難所になったときに備えて、「メインアリーナ(体育館)」にもバリアフリートイレを設置し、オストメイトに対応した設備などを計画しました。バ



図書室を共用部と一体とすることで、アクティブ・ラーニングを促している。



サインは生徒たちが着色。今後、新しいピースをつくって、内側を埋めていく。



大きな本棚で構成された図書室は、稲築東義務教育学校の特色の一つ。



3階男女別トイレとバリアフリートイレ入り口。トイレのサインは取り外しが可能。



3階トイレ前の手洗いコーナー。手洗いを外に出すことで、さまざまな学年・クラスの交流を目指した。

(右)2階個室トイレ内の手洗い。トイレ内は自動水栓を採用した。(左)3階男子トイレ大便器ブース。大便器は暖房便座。



3階女子トイレ。ジェンダーの観点から、赤などはっきりした色でなく、淡い色彩の壁床材を使用。

稲築東義務教育学校は、建物全体の色を抑え、サインに目が向くようにデザインされているのが特徴です。各学年のエリアの壁には、八角形のピースが集まってできたサインが施されています。ピースには、市産材の杉が用いられています。

子どもたちに最適な教育の場を

高学年の教室付近のトイレは、トイレ内で身だしなみを整えられるよう、内側に手洗いを設置しています。感染症対策の観点から、トイレ内の手洗いは自動水栓を導入しました。

洗いながら友達と話したり、交流したりできるような、ラウンジ空間を目指したためです。他にも、低・中学年が主に利用する1階と3階のトイレの一部は、手洗いコーナーをトイレの外に出しています。これは、手を洗いながら友達と話したり、交流したりできるような、ラウンジ空間を目指したためです。

すべての学年が利用する2階に個室トイレを設けること、各階にバリアフリートイレを置くことで、性的マイノリティや、一人になりたい児童・生徒が違和感なく利用できるよう配慮しました。

「ピースに着色をしたのは、統合前の稲築東中学校の生徒たちです。稲築東義務教育学校の開校後は、高学年の生徒が低・中学年の子どもたちに、ピースのつくり方を伝えていってもらえたらと思います」(野原春花さん)

「卒業する際は、自分がつくったピースを思い出しに持ち帰ってもらい、新たに入学した子どもたちが、自身のピースを製作するという循環ができればと考えています」(野原啓司さん)

八角形にしたのは、円形よりも、児童・生徒がノコギリなどでカットしやすいからだといえます。

また、コンクリートや木などの素材を、意匠としてそのまま活かすことで、建物の構造や成り立ちがわかるようにしています。

「授業などで、そういった点についても触れてもらえたらうれしいです」(野原啓司さん)

嘉麻市教育委員会教育総務課の山本匠貴さんは語ります。

「教育がよくなれば、嘉麻市に住む人や、働く人も増えると思います。そうなれば、必然的に人口も増加します。学校を起点に、まずは子どもたちにとって最適な環境を整えてあげることができればと考えています」



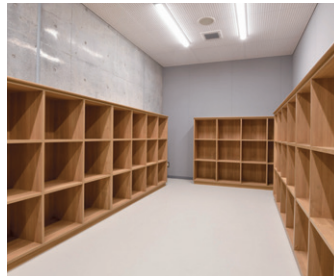
体育館バリアフリートイレ。災害時の利用を考慮し、広さを確保した。オストメイトに配慮した設備や手すりも設置。



体育館男子トイレ。グレーを基調とした壁材でシックな印象にまとめた。



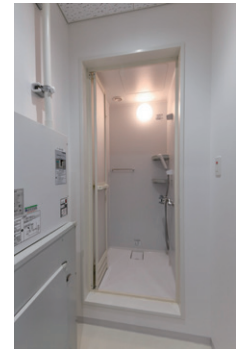
広々とした体育館。有事の際には、避難所として利用される想定。



体育館更衣室。更衣室は体育館の他、校舎の1階と3階にも備えられている。



音楽室。段差をつけて、児童・生徒全員の顔が見えるように設計。



保健室にもシャワー室を備えた。



左から、野原啓司さん、野原春花さん(ともに久米設計)。



壁面収納式担架「ラビットレスキュー」は野原春花さんが発案者の一人。



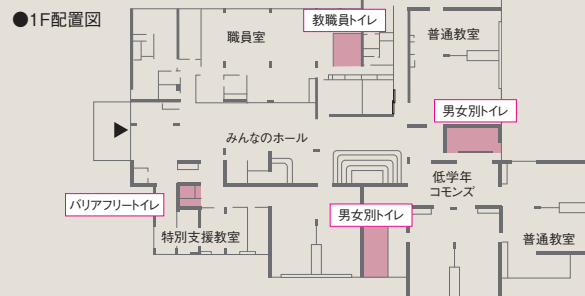
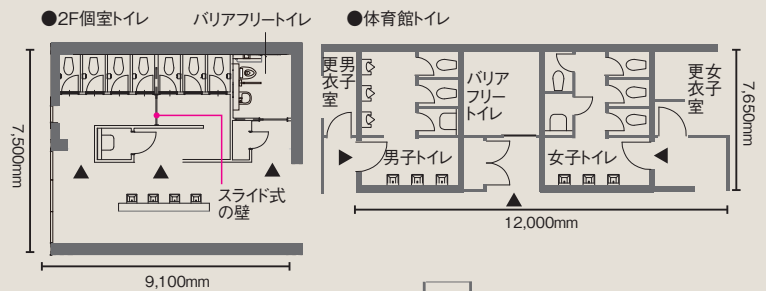
保健室トイレ。同室内に掃除用流しも設けた。



各階のトイレと連動した緊急呼び出し表示器も設置。

嘉麻市立稲築東義務教育学校 DATA

名称：嘉麻市立稲築東義務教育学校
 所在地：福岡県嘉麻市平1536番地
 児童・生徒数：470名(2023年5月)
 施主：嘉麻市
 設計・監理：久米設計九州支社(鴻池・平嶋・久米JV)
 施工：鴻池組九州支店・平嶋工務店(鴻池・平嶋・久米JV)
 竣工年月：2023年2月

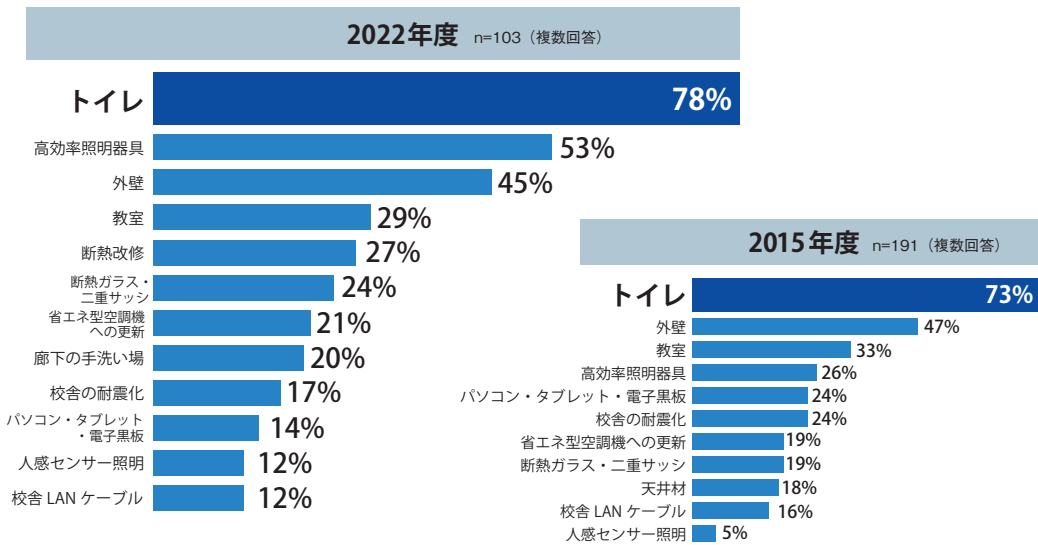


バリアフリートイレは1～3Fの全フロアと体育館の計4カ所に設置。

Q1

学校で児童・生徒のために施設改善が必要だと思われる場所は？

出典：2015・2022年度全国自治体アンケート調査



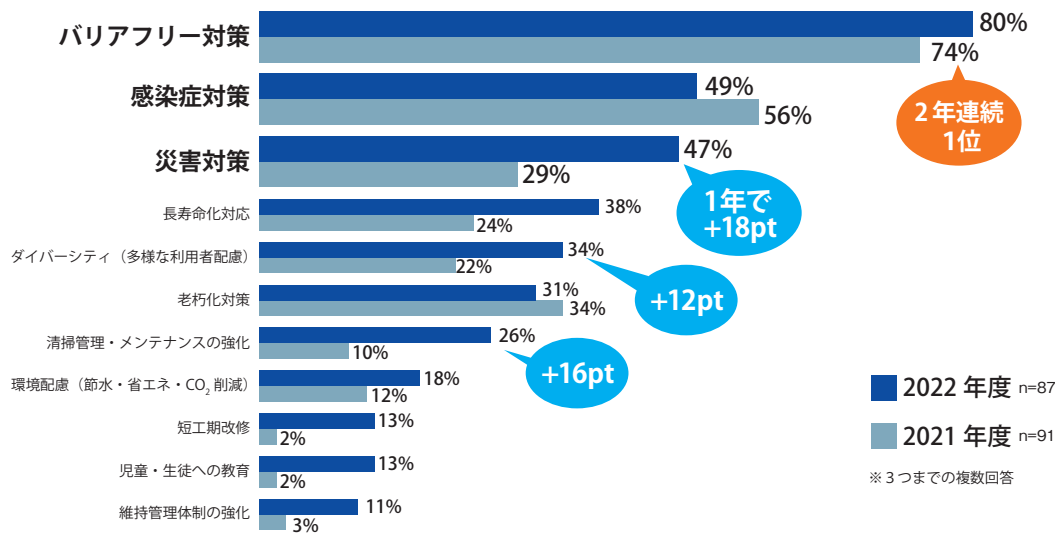
人の尊厳と多様性を尊重するダイバーシティ&インクルージョンの考え方はビジネスだけのものではありません。学校トイレにもバリアフリー化を進め、男女共用トイレを配置しようとする考えが高まってきているようです。

バリアフリー対策に加え、
多様化する学校トイレ

Q2

今後、学校のトイレ整備を考える上で、特に重要と思われることは？

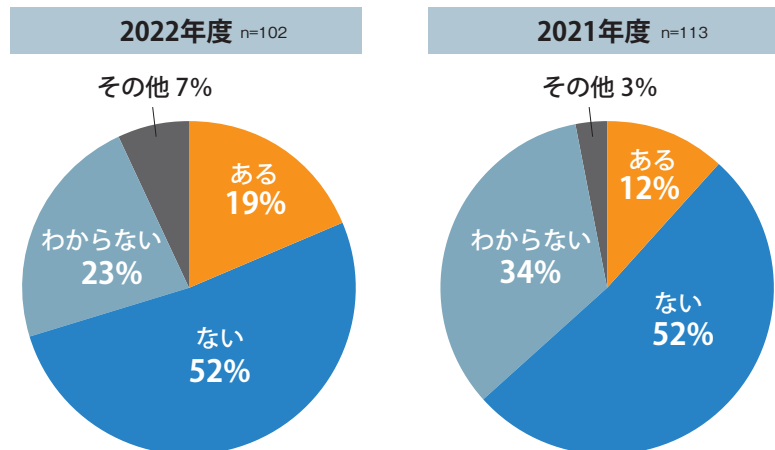
出典：2021・2022年度全国自治体アンケート調査



Q3

性的マイノリティ(LGBTなど)の児童・生徒への対応も視野に入れて、男女共用トイレ*の整備を行ったこともしくは行う予定はありますか？

*車いす使用者用トイレは含まない 出典：2021・2022年度全国自治体アンケート調査



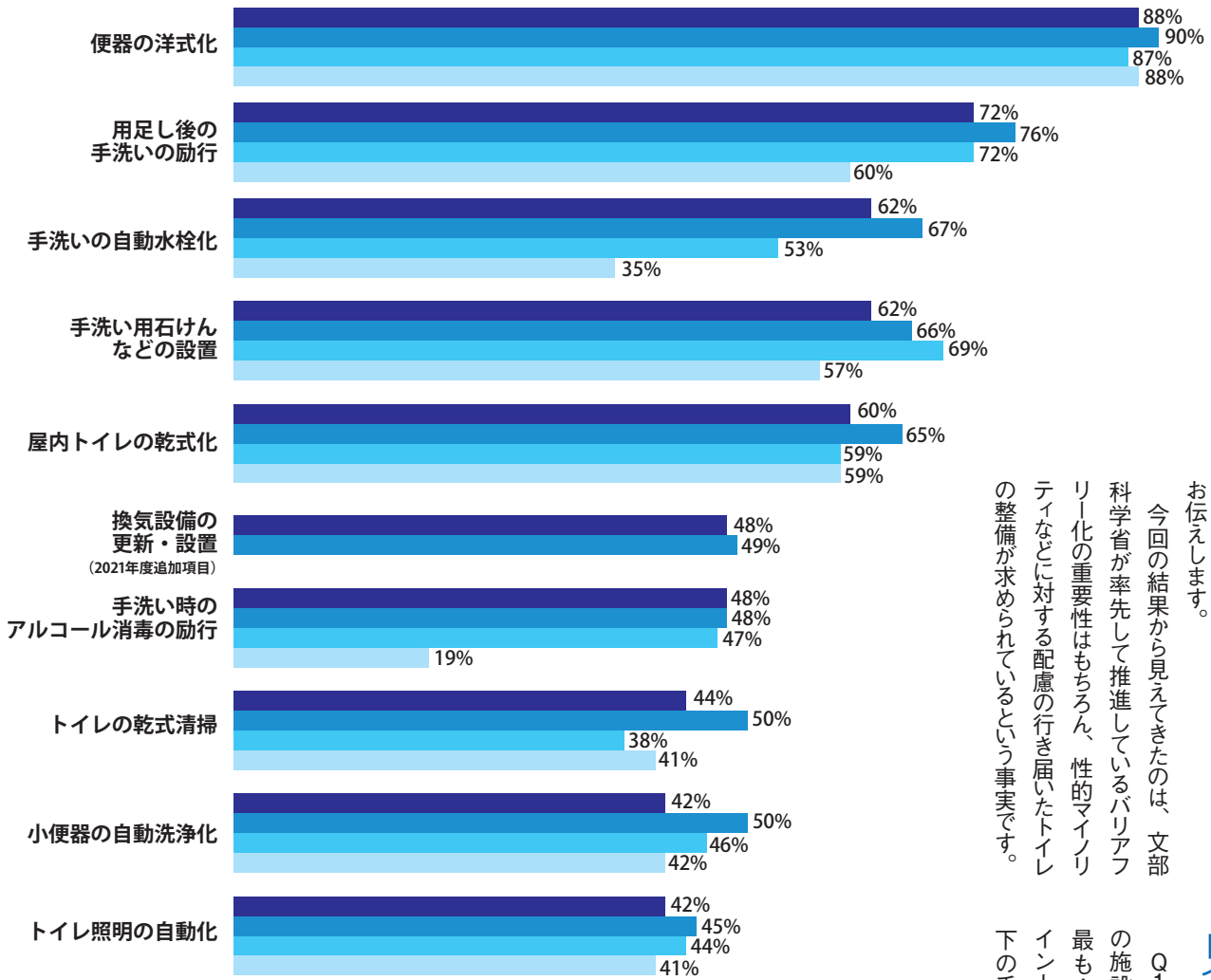
*構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とならない。

Q4

学校トイレにおける感染症対策として実施している項目は？

※感染症対策だけが目的でなくても実施している項目（上位10項目）
出典：2019・2020・2021・2022年度全国自治体アンケート調査

■ 2022年度 n=103（複数回答）
■ 2021年度 n=111（複数回答）
■ 2020年度 n=133（複数回答）
■ 2019年度 n=199（複数回答）



学校のトイレ研究会が毎年実施している、全国自治体アンケート調査の結果をお伝えします。
今回の結果から見えてきたのは、文部科学省が率先して推進しているバリアフリー化の重要性はもちろん、性的マイノリティなどに対する配慮の行き届いたトイレの整備が求められているという事実です。

バリアフリー対策が トイレ整備の重要度8割に

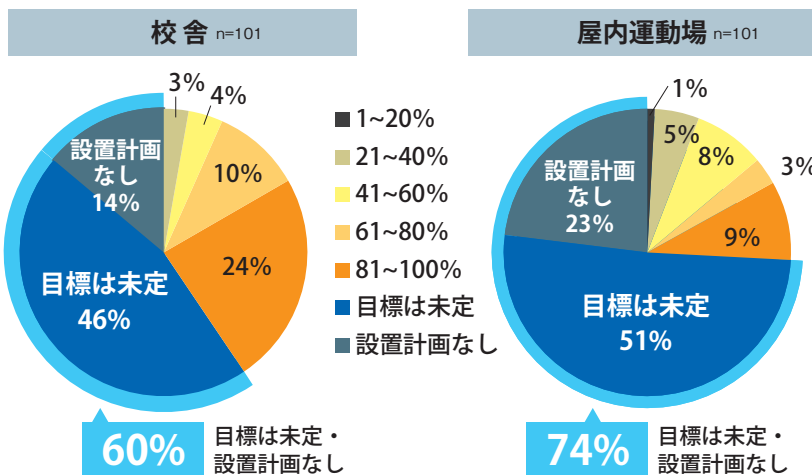
Q1では、児童・生徒のために「トイレ」の施設改善が必要とする回答が78%と最も多く、2015年度の73%を5ポイント超える結果となりました。「廊下の手洗い場」は20%で、21年度の公

立小・中学校教職員調査での高い数値（61%）と比べるとやや意外な印象です。
Q2の、学校トイレ整備で今後特に重要と思われることとしては、「バリアフリー対策」が21年度から変わらず最上位で、80%を占めました。21年度調査から18ポイントの伸びを示しているのが「災害対策」で、その他、「ダイバーシティ（多

Q5

2023年度末までの学校の車いす使用者用トイレの目標設置率は？

出典：2022年度全国自治体アンケート調査

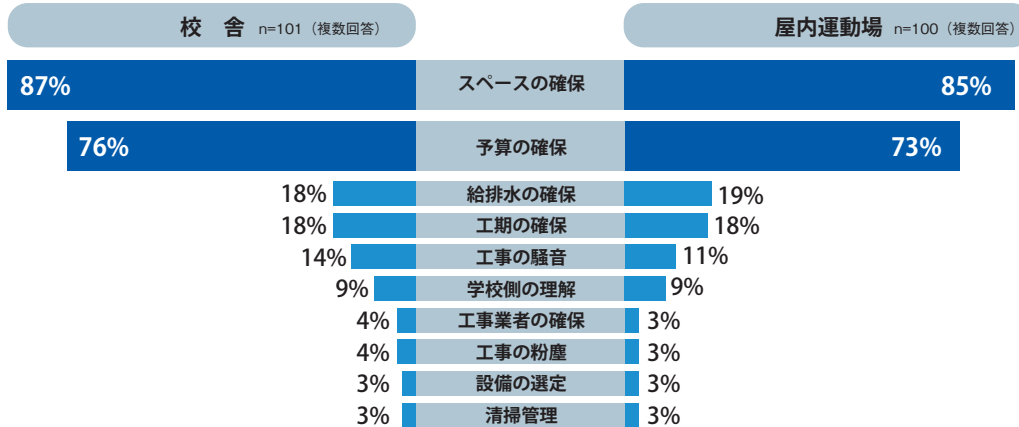


※構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とならない。

Q6

車いす使用者用トイレの設置において課題となることは？

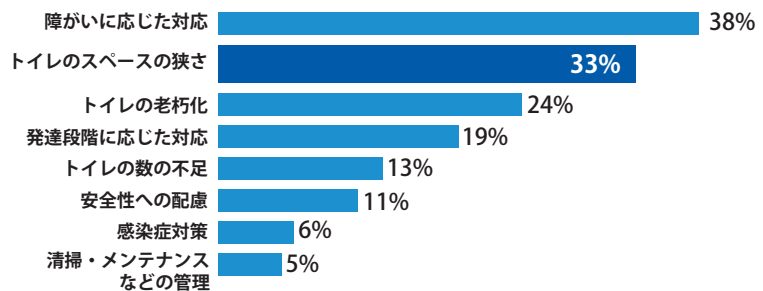
出典：2022年度全国自治体アンケート調査



Q7

小・中・高等学校等の特別支援教育の推進のためのトイレ整備に関して困っていることは？

出典：2022年度全国自治体アンケート調査 n=93 (複数回答)



車いす使用者用トイレに残るスペース・予算の課題

Q4は感染症対策としての実施項目について、4年間の推移をまとめると、常に高い結果となっていることから見ると、「便器の洋式化」は感染症対策と切り離せないことが浸透しているようです。この他、「手洗いの励行」や「自動水栓化」「石けんの設置」など、いずれも手洗いに関わる内容で、設備の充実と習慣づくりの両立が必要なのがわかります。続く「乾式化」についても、洋式化とともに

様々な利用者配慮」が12ポイント、「清掃管理・メンテナンスの強化」が16ポイント伸ばしています。
Q3では、性的マイノリティの児童・生徒を視野に入れた「男女共用トイレ」の整備状況について聞いています。「ない」とする回答率は前年度と変わりませんでした。しかし、「ある」とする回答は12%から19%へ伸びていくことがわかります。

Q5は、車いす使用者用トイレの目標設置率についてです。校舎では、8割以上の学校に設置計画のある自治体が24%と比較的高い値を示しています。一方で、「目標未定」「設置計画なし」との回答は、校舎で60%、屋内運動場で74%となり、どちらも前年の結果を上回る結果でした。

Q6からは、車いす使用者用トイレ設置の課題が明らかになりました。校舎、屋内運動場ともに「スペースの確保」、次いで「予算の確保」が他を圧倒しています。最後のQ7は、特別支援教育と連動したトイレ整備の困りごとについてです。1位は「障がいに応じた対応」、次いで「スペースの狭さ」となっており、Q2の結果にもあるように、バリアフリートイレの重要性は認識されているものの、簡単には解決しづらい多くの課題が残されていることもわかりました。

調査概要

*各グラフの数値は、小数点以下四捨五入としています。
*n数はいずれも有効回答数
*調査方法はすべて郵送

- 2022年度全国自治体アンケート調査
調査対象：全国1,787自治体
調査時期：2022年8月～10月
回答数：103 (回答率5.8%)
- 2021年度全国自治体アンケート調査
調査対象：全国1,787自治体
調査時期：2021年11月
回答数：113 (回答率6.3%)
- 2020年度全国自治体アンケート調査
調査対象：全国1,787自治体
調査時期：2021年3月
回答数：133 (回答率7.4%)
- 2019年度全国自治体アンケート調査
調査対象：全国1,787自治体
調査時期：2019年11月～12月
回答数：204 (回答率11.4%)
- 2015年度全国自治体アンケート調査
調査対象：全国1,741自治体
調査時期：2015年9月～11月
回答数：192 (回答率11%)

児童・生徒、教職員、保護者の多くの声に耳を傾け、「学校トイレ整備における基本的な考え方」を策定

市内全小・中学校のトイレ整備において、洋式化・ドライ化・ユニバーサル化を進めてきた大阪府枚方市。これまで行ってきた整備内容を検証し、基本的な考え方を整理するため、児童・生徒、教職員、保護者に2回にわたってアンケートを実施しました。2024年度以降の整備工事に反映させようという狙いです。

2024年度からの整備に向け、アンケート調査を実施

大阪府枚方市は、学校トイレにおける洋式化・ドライ化・ユニバーサル化について、2023年度までの全小・中学校整備完了に向けて集中的に取り組んできました。2024年度以降は、「枚方市学校整備計画」に基づき、老朽度合いなどに応じて順次工事を行う、計画的改修に移行します。

教育現場のトイレ整備については、多くの子どもたちのストレスのない利用が求められるため、これまでの整備内容を検証した上で基本的な考え方を整理し、2024年度以降の整備工事に反映させるため、アンケート調査を実施しました。

アンケート内容の作成に当たっては、枚方市をはじめ、LGBTQ支援団体NPO法人QWRC、学校のトイレ研究会による意見交換が行われ、調査結果集計後も同様のメンバーによる意見交換や検証が実施されました。

がまんすることが減ったトイレは洋式便器、自動水栓

児童・生徒を対象にした調査の主な結果をQ1～Q3として抽出しました。Q4は教職員・保護者の調査結果です。

学校トイレが新しくなって大便や小便を「がまんすることが減った」とする回答が25%でした(Q1)。「新しくなったトイレ・洗面所で気に入っていること」では、洗面所の自動水栓が85%と突出した結果となり、全洋式や自動照明、暖房便座が人気となりました(Q2)。

便器がない個室トイレについての感想は意見が分かれたものの、「とてもよい、よい」の合計が38%となり、「よくない、とてもよくない」を上回っています(Q3)。性別に関係なく使用できるトイレがあることについて、「とてもよい、よい」とする回答は、教職員、保護者ともに高い数値を示しました(Q4)。

2023年4月、学校施設整備検討委員会によって『学校トイレ整備における基本的な考え方』が策定されました(左下写真参照)。

アンケート調査結果を受けて具体的なトイレづくりがスタート

調査結果を受けて、第一の取り組みとして進められているのが「インクルーシブ化、ユニバーサル化」です。トイレにおける「からかい、がまん、いたずら、汚れ」といった課題に対する配慮から、「いろんな人がいて、いろんなトイレがある」という考えのもと、一部の男子トイレで小便器のない個室トイレの設置、明るさや清潔さの重要性、プライバシー配慮、感染防止対策、さらには安心して利用するための教育の必要性がうたわれています。

次いで、車いす使用者、オストメイト、乳幼児連れ、性的マイノリティなどの要配慮者の使用を踏まえた機能を持つ「バリアフリートイレ」の具体像が描かれ、洋式トイレ、バリアフリートイレなど「避難施設としてのトイレ」のあるべき形が示されています。加えて、学校トイレに関する人権教育と道徳教育による課題解消が図られています。

トイレ改修工事が待ち遠しいですね。

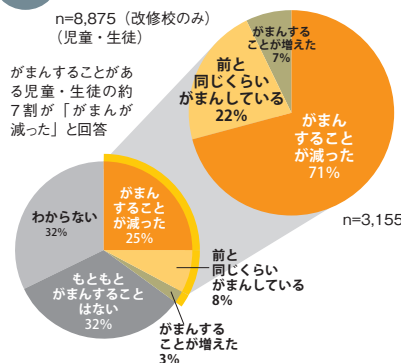


枚方市学校トイレ整備の詳細はこちら
<https://www.city.hirakata.osaka.jp/0000047705.html>

枚方市学校トイレ整備に関するアンケート調査概要

- 調査対象
枚方市立の小学校44校・中学校19校の児童・生徒、教職員、保護者
- 調査時期
2022年7月・12月
- 調査方法
Google FormsによるWEBアンケート
- 調査機関
枚方市・学校のトイレ研究会・NPO法人QWRC(くおーく)

Q1 学校のトイレが新しくなって、大便や小便の利用に変化がありましたか



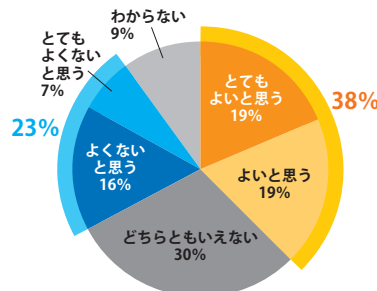
Q2 新しくなったトイレ・洗面所で気に入っていること(上位5位)

n=6,079 (改修校のみ) (児童・生徒) 複数回答

トイレ	洗面所
全部洋式トイレである	自動で水が出る水栓
62%	85%
自動で電気がつく	液体石けんがある
62%	53%
便座が温かい(暖房便座)	全身が映る鏡
60%	50%
床がぬれていない	トイレ入り口付近のベンチ
53%	42%
便座クリーナーがある	荷物を置く棚や台
44%	31%

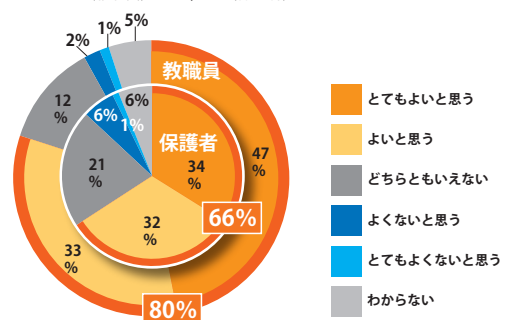
Q3 小便器がないすべて個室の洋式トイレについて、どのように思いますか

n=2,642 (改修校のみ) (児童・生徒)



Q4 性別に関係なく使用できるトイレが学校にあることについて、どのように思いますか

n=738 (教職員) n=4,742 (保護者)





南棟2階東男子トイレ。トイレには自動水栓と水石けん供給栓を設置。手洗いの高さは、低学年を低めにするなど配慮した。

学校
トイレ事例
03
改修

滋賀県大津市

大津市立田上小学校

トイレ改修の第一号として 時代に即したトイレに大変身

今の時代の「当たり前」を
学校にも標準でそろえた

2023年に開校150年を迎えた田上小学校は、1873年に前身の学校が創立された歴史のある小学校です。

一方、校舎は築38年が経過し、老朽化が目立っていました。中でも、トイレの劣化は顕著であったといえます。

「私は、地域の方から直接電話を受ける立場にいたのですが、学校へ通う児童の保護者から「多かった意見が『トイレをきれいにしてほしい』というものでした」

そう話すのは、大津市教育委員会教育総務課の清水貴光さん。要望を受け、大津市内の学校現場を回ったところ、トイレの臭い、汚れ、便器やその他の器具の破損など、早期改善が必要だったのが、田上小学校でした。

大津市は現在、長寿命化改良事業として、学校施設の改修工事を進めています。調査結果を受けて、田上小学校のように、トイレの老朽化が進行している学校については、改良事業の順番が回

てくる前に、トイレの整備を先行して行うことを決定しました。

トイレを新しくするに当たり、大津市は、①便器の全面洋式化、②床の乾式化、③温水洗浄便座の導入、④トイレ内の手洗いの自動水栓化、⑤小便器の自動洗浄化を決定。併せて、給排水設備も更新しました。

「内閣府の調査によると、二人世帯以上の家庭の80%が、温水洗浄便座を保有しているそうです。家庭で一般的になっているものを、学校の中にも採用していくと考えています」（清水さん）

こうして、市内の小・中学校55校の第一号として、田上小学校のトイレは生まれ変わりました。大津市では今後、これらを標準仕様として、市内全域のトイレ改修を進めていく予定です。

西村喜雄校長先生は「入学したての児童の中には、ハンドル式の水栓に向かって手を出したまま、動かない子どももいるのですよ」と語ります。

「温水洗浄便座だけでなく、自動水栓に慣れた子どもも増えました。けがをしたときや、手に力



南棟2階東男女別トイレ入り口。感染症対策の観点から、ドアレス仕様に。



南棟3階東女子トイレ内、広めの個室のドア。トイレの内装は木目調に統一。児童からも「落ち着く」と評判がいい。



学校内の掲示板。取材時の月の目標は「さ・し・す・せ・そうじで学校をきれいにしよう」。



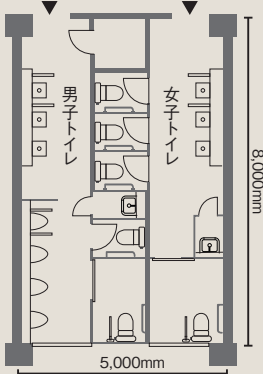
雑巾かけ。掃除用具は使用後よく洗ってしっかり乾かすのが、きれいに保つ秘訣。

大津市立田上小学校 DATA

名称：大津市立田上小学校
 所在地：滋賀県大津市里5-8-1
 児童数：337名(2023年4月)
 施主：大津市
 設計・監理：三和総合設計
 施工：関西設備工業
 竣工年月：2023年1月



●南棟2F東トイレ



コンパクトなフラッシュタンク式の大便秘器を配置することで、個室数を確保した。



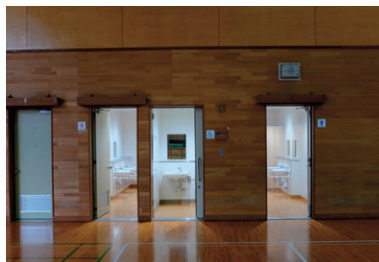
南棟3階東女子トイレ。さまざまな利用者を想定し、広めの個室も用意。大便器はすべて温水洗浄便座つき。



南棟3階東女子トイレ。フラッシュタンク式便器を採用し、ゆとりのあるスペースを実現。



南棟2階東男子トイレ。明るい光が差し込む。小便器は床の清掃性に優れた壁掛け式。1カ所には手すりも設けた。



体育館男女別トイレとバリアフリートイレ入り口。それぞれのサインは、シンプルでわかりやすいものを採用。



体育館バリアフリートイレ。ゆったりとしたスペースを確保。バリアフリートイレだけでなく、すべての個室に手すりが備えられている。

(左)清水貴光さん(大津市教育委員会教育総務課)。(中央)西村喜雄校長先生。(右)職員用女子トイレ。職員用のトイレはダークブラウンの木目調に仕上げた。



が入りにくい子どものためにも自動で水が出るのはいいですね」
 改修前のトイレの手洗いは、経年劣化により、きちんと栓が閉まらないなどのトラブルもありました。自動水栓は、感染症対策の面でも、節水の観点からも好評です。

さらに、田上小学校のトイレには、車いす利用者など、幅広い利用を想定した広めの大便秘器、ブースも設置しました。すべての個室に、手すりも備えられています。

新しくなったトイレについて、学校が児童にアンケートを取りました。そこには「きれい」「明るい」「トイレで友達とお話するのが楽しい」など、喜びの声があふれていました。

バリアフリートイレ。災害時、さまざまな人が利用することを想定して、オストメイトに対応した設備の他、ベビーシートやベビーチェアを設置した。



旧学校活用
トイレ事例

04

改修

愛知県丹羽郡大口町

大口北防災センター

体育館を地域の防災拠点に改修 避難所ならではの工夫が随所に

子ども用のトイレから
誰もが使えるトイレに

2022年、愛知県丹羽郡大口町の旧大口北小学校の体育館が、新たな防災拠点「大口北防災センター」として生まれ変わりました。一般的に、避難所の多くは、地震や洪水、大規模火災などが発生した際に、市町村の職員がその場に駆けつけ、鍵を開けるなどして避難所を開設します。しかし、その流れでは、実際に避難所が立ち上がるまで、どうしても時間を要してしまいます。

そこで、大口北防災センターでは、災害が起きたときに備えて、地域の人々が施設の鍵を持ち、解錠することで、避難所開設までの時間を大幅に短縮することを目指しました。現在は「大口町北地域自治組織」の方が運営を行っています。通常の施設は、運動教室が開催されるなど、地域開放の場として利用されています。

小学校の体育館を防災センターへ改修するに当たり、トイレ整備も実施されました。これまで、主な利用者は子どもだったことが

ら、一つひとつの大便器ブースは大人が使用するには狭かったといいます。床は湿式便器は和式でした。「防災施設なので、新たにバリアフリートイレを設置しました。施設のそばには、公衆トイレもあります。避難の際はそちらも使えることを加味し、便器の数を減らして、個室をゆつたりと取りました」

そう話すのは、大口町地域協働部町民安全課の稲葉悠斗さんです。

バリアフリートイレには、オストメイトに配慮した設備や、ベビーシート、ベビーチェアを備えています。男女別トイレの個室の一つには、子どもと一緒に入ったり、着替えをさせたりすることを想定して、ベビーチェアとフィッティングボードも設置しました。

今回の改修で、床を乾式化し、便器も洋式に変更しました。手洗いは、自動水栓です。防災センターという観点から、トイレの床も男女で色を変え、視認性を高めています。施設内には、災害時の利用に備えて、更衣室も用意しました。屋外には、マンホールトイレも

男子トイレ。明るい光が差し込む。手前の小便器には手すりを設けた。



防災センター館内。通常時は柔道教室などに利用されている。



屋外にある公衆トイレ。ベンチの下にはビニールシートが備えられている。非常時、屋根にセットするだけで、仮設テントが完成する。



非常用発電機。停電時も、3日分の電気が供給できるようになっている。



男子トイレ個室。男女別トイレの個室の一つには、ベビーチェアとフィッティングボードも設置。



防犯カメラと、ビニールカーテンで仕切る際に利用する金具。



ベンチにも仕掛けが施されている。カバーを外せば、災害時の炊き出し用かまどに早変わり。



バリアフリートイレと、男女別トイレ入り口。サインはシンプルで、明瞭なデザインに。



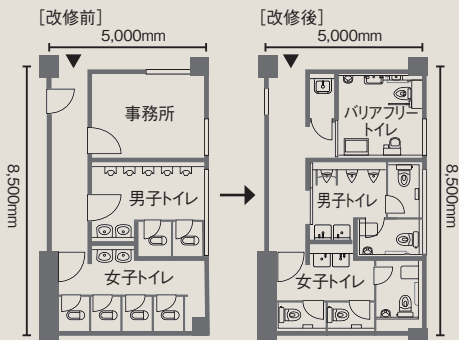
女子トイレ手洗い。感染症対策の観点から自動水栓に。足元には荷物棚も。

大口北防災センター DATA

名称：大口北防災センター
所在地：愛知県丹羽郡大口町屋敷1-308
施主：大口町
設計・監理：齊木建築事務所
施工：松岡建設 大口営業所
竣工年月：2022年3月



●大口北防災センタートイレ



バリアフリートイレは、もともと事務所があった場所に新設した。



女子トイレ個室。ベビーチェアとフィッティングボードの他、手すりを備えた。大便器はすべて温水洗浄便座。



左から稲葉悠斗さん(大口町地域協働部町民安全課)、川橋朝次さん(大口町北地域自治組織理事)、藤田金生さん(大口町北地域自治組織会長)、吉田治則さん(大口町北地域自治組織事務局長)。

準備されています。

トイレ以外にも、救急車が来た際に、車を横づけで止められる救護室や、感染症が発生した際に、館内をビニールカーテンで区切れる装備や防犯カメラが設計されています。旧大口北小学校の面影を残すためにも、体育館のステージは取り壊さず、携帯トイレやマスク、消毒液などの備蓄倉庫として活用しています。

大口町北地域自治組織で会長を務める藤田金生さんは語ります。「運営が始まって、まだ1年目です。地域の方にとって、どのような施設が利用しやすいのか、防災について、どう啓発していくのがよいのか、今後も検討していきたいと思っています」

正しい日常清掃・定期清掃をプロに学ぶ 乾式トイレの清掃方法を見直そう!

どうしたら
掃除のやる気が出
るのかな?

尿の飛び散りが
取れず、とても
困っています

どれくらいの
ペースで清掃したら
いいの?

乾式トイレの清
掃方法、誰か
教えて!

いくら清掃しても、
黒ずみが
とれないのはなぜ?

きれいなはずなのに、
いつまでも
臭う気がする…

押さえておきたい 日常清掃のコツ

日常清掃は、10〜15分ほどの、限られた時間の中で行われることがほとんどです。児童・生徒の年齢などによ

り、トイレ清掃には、児童・生徒が中心となつて行う日常清掃と、月に1回、もしくは、学期末などのタイミングで実施する定期清掃があります。日常清掃では、子どもたちの手が届く範囲で掃除をし、定期清掃では、教職員や用務主事など大人が入つて、蓄積した汚れや、臭いの原因となつている場所を清掃します。それでは早速、それぞれの清掃方法を見ていきましょう。

乾式トイレにおける 清掃の考え方

湿式から乾式トイレへの改修が進む中、学校のトイレ研究会に多く寄せられるお悩みの一つが、乾式トイレの清掃方法についてです。そこで、今回は、トイレ清掃のエキスパートかつ、当研究会のメンバーである木村徳太郎商店に「正しい日常清掃・定期清掃」について聞きました。

そもそも乾式トイレの 清掃方法がわからない!

て、掃除の仕上がりにも差が出てしまうので、1回で清掃する場所を広げすぎず、ある程度限定することがポイントです。

乾式トイレを清掃する際、まず行ってほしいのが、床の掃除です。ほうきとちりとりを使って、床のゴミを取り除きましょう。

「床の黒ずみは、湿った床にホコリや尿がこびりつき、それが固まることで発生します。その上にワックスをかけてしまつと、一層落としにくくなります」(木村徳太郎商店、以下「内」)

その後は、モップやフローリングワイパーを用いて、床を拭き上げます。洗剤を使用する場合は、5リットルの水に対し、キャップ半分程度の中性洗剤を入れ、薄い洗剤液をつくりま

便器の清掃は「上部から下部」という順に行っていくことが基本です。大便器の場合、便座のふた、便座、便器の縁、便器の外側という順に拭いていきます。

「便座の裏側は、気がつかないうちに汚れていることがあります。男子トイレの場合、大便器の周りの壁や床にも、尿が飛び散っている可能性があるるので、注意します」



トイレの 日常清掃の 手順

②洗剤液の用意



洗剤を使う場合は、5リットルの水に対し、キャップ半分程度の中性洗剤を入れる。

①床の拭き掃除



ほうきで床のゴミを取り除く。



清潔なゴム手袋か、使い捨てのビニール手袋を用意する。

⑥清掃用具の片づけ



清掃用具はしっかり乾かす。モップはつるすか、逆さにして保管する。

⑤洗面器の清掃



洗剤をつけた雑巾で洗面器と水栓をこすり洗いした後、きれいな雑巾で拭き取る。

④便器の清掃



便器の内側に洗剤液をかけてブラシでこすり洗いし、雑巾で便座や便器を拭く。

③床の清掃



床を洗剤液でぬらして拭き上げる。

日常清掃と大きく異なる点は、尿石除去などの清掃に「酸性洗剤」を使う点です。これらは、教職員や用務主事など大人が行うようにしましょう。定期清掃では、普段のお手入れが行き届かないところを入念に掃除します。便座本体の裏をはじめ、温水洗浄便座の場合はノズルといった場所ま

きれいなトイレをキープ 定期清掃のコツ

手洗いコーナーの洗面台や鏡や床も、水はねが残りやすい場所の一つです。水滴残りは、汚れや臭いのもととなるので、きちんと取り除いておきましょう。

「トイレ掃除というと、便器の水が流れる、見える部分をブラシで二生懸命に磨くのですが、水が流れにくい縁裏や、便器周りや便座の裏側をしっかり拭き上げた方が臭い対策になります」
小便器も同様に掃除しましょう。
「リップ下部分は、尿が垂れている可能性があるため、入念に拭き取ります。小便器周りの壁や床も、尿が飛び散っていることが多いです」

道具は、掃除用のウエットシートや、薄めた洗剤液をつけた雑巾などを使用します。雑巾を用いる場合は、汚れたら都度交換し、最後にきれいな雑巾で洗剤液を拭き取ります。雑巾は枚数用意して、場所ごとに使い分けると便利です。
「トイレ掃除というと、便器の水が流れる、見える部分をブラシで二生懸命に磨くのですが、水が流れにくい縁裏や、便器周りや便座の裏側をしっかり拭き上げた方が臭い対策になります」

「清掃用具が汚れていると、せっかく掃除をしているのに、かえって菌をまき散らすことになります」
汚れた清掃用具は百害あって一利なし

意外と大切 清掃方法以外の ポイント

「自分たちでトイレをきれいにすれば、掃除に対するモチベーションも高まりますし、トイレを大切に使うという気持ちにもつながります」

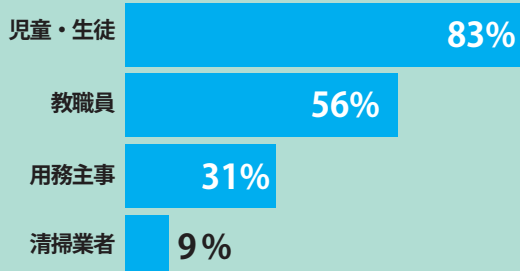
もし、子どもたちにも定期清掃に参加してもらう場合、大便器のタンク下など、大人では入りにくいところや、窓や鏡の清掃を任せます。目に見えてピカピカになる場所をお願いすれば、達成感が得られるためです。

「陶器製であれば、酸性洗剤が使用できませんが、樹脂製の場合は、素材を傷めてしまいます。樹脂製の場合は、日常清掃でしっかりと掃除を行い、尿石などの付着を防ぐようにしてください」

で、ウエットシートや雑巾などで拭き取ります。
小便器の目皿に黄ばみや尿石が蓄積している場合、酸性洗剤を用いて汚れを落とすこととなりますが、便座や目皿の素材には注意が必要です。

学校トイレの「日常清掃」の 主な担当者は誰ですか？

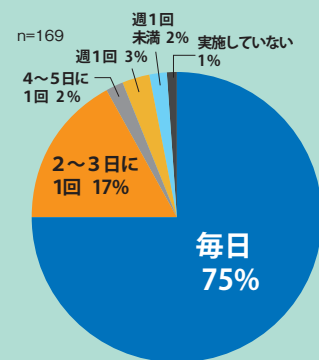
n=167 (複数回答)



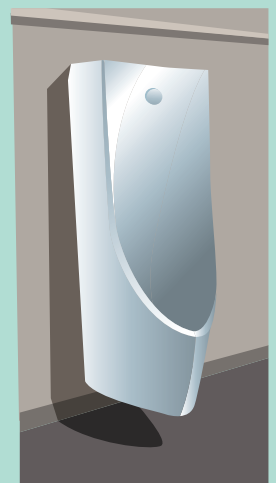
出典：2021年度全国公立小中学校アンケート調査

学校トイレの「日常清掃」の 頻度はどれくらいですか？

n=169



出典：2021年度全国公立小中学校アンケート調査



使用後の清掃用具は、しっかりと乾燥させてください。モップを床につけた状態で保管したり、バケツの中に入れてたままにしたりするのは避けましょう。モップや雑巾は、乾くまでは風通しのよいところに保管するのが理想です。

ここまでお伝えしたポイントの他、日常清掃でも、先生ができる範囲で清掃の仕上がりを手エツクしてあげるといいでしょう。

「減点方式ではなく、きれいになったところを褒めてあげてください。5分だけでも、掃除に参加できればベストです。ワイワイ楽しく清掃ができれば、子どもたちは驚くくらい、トイレ掃除を頑張ってくれますよ!」



トイレの定期清掃のポイント



黄ばみや尿石の除去には酸性洗剤を。ただし目皿などの素材に気をつける。



鏡などは、児童・生徒に担当してもらってモチベーションアップにつながる。



温水洗浄便座の場合、ノズルの掃除もモチベーションアップにつながる。



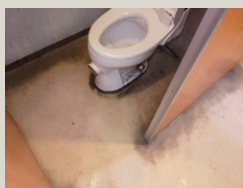
便座の裏側など、日常清掃で行き届いていないところを掃除する。

日常・定期清掃で取れない汚れはプロ特別清掃にお任せ

頑固な尿石や黄ばみは洗浄力の強い薬剤を使用し、さまざまな道具を使い分けて、汚れを徹底的に落とします。トイレがピカピカに生まれ変われば、児童・生徒も掃除に身が入りやすくなります。専門の知識と技術を持ったプロ特別清掃を年に1回入れることを推奨します。



諦めていた黄ばみや、黒ずみなどの汚れもお任せ。



洗剤の使い方には要注意!

日常清掃は中性洗剤を薄めたものを。定期清掃の際、黄ばみや尿石除去には酸性洗剤、湿式床の除菌には塩素系洗剤を使用する。便器などの材質には注意。



左から、中性洗剤、酸性洗剤、塩素系洗剤。

さらに詳しい清掃手順は学校のトイレ研究会HPへ!

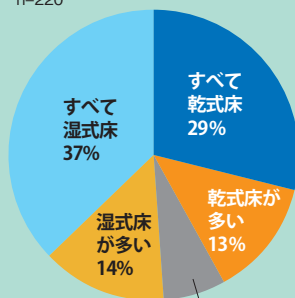


本記事でご紹介した手順や清掃用具を、日常・定期清掃ともに、動画でわかりやすく解説しています。詳しくは同梱のチラシを参照ください。

<https://www.school-toilet.jp/cleanmainte/index.html>

トイレの床は乾式、湿式のどちらですか?

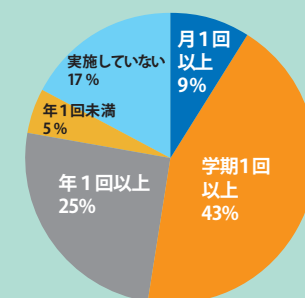
n=220



出典：2018年度全国公立小中学校アンケート調査

学校での「定期清掃」の頻度はどれくらいですか?

n=167



出典：2021年度全国公立小中学校アンケート調査
※構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とらない。



西舎4階女子トイレ。車いすの人も利用しやすいよう、ゆったりとスペースを確保。

学校
トイレ事例
05
改修

岐阜県羽島郡笠松町

笠松町立笠松中学校

学校、PTA、地域、自治体、地元業者
みんなでつくりあげたトイレ

30年以上前から トイレが変わっていない

「トイレが汚いので、何とかしてほしい！」ある生徒の発言をきっかけに、2021年12月、笠松町で独自の「トイレ研究会」が発足しました。

トイレ研究会のメンバーは、笠松中学校の生徒会と教員、PTA、地域の代表者、笠松町、地元業者、そして、TOTOです。研究会の目的は、生徒や地域の人、業者など、さまざまな視点を取り入れることで、みんなにとって使いやすいトイレをつくること。もう一つ、隠れた目標が、本研 究誌『学校トイレの挑戦!』に掲載されることだったといえます。

改修前のトイレは、床は湿式、便器もほとんどが和式でした。壁の一部は剥がれ、パーティションの下もぼろぼろ。中でも、つらかったのが臭いです。生徒会の生徒は「臭いが本当にひどくて、トイレの近くを通るだけで、服にしみつく感じがした」と語ります。

清掃時も、水をまいて、一生懸

命ブラシで便器をこすっても、黒ずみや黄ばみなどの汚れは落ちませんでした。PTA会長・トイレ研究会副会長の安藤博之さんも「清掃方法が決して悪いわけではないのに、かわいそうだった」と話します。

「私もこの学校の卒業生です。30年くらい前の話になりますが、トイレがそのときからほとんど変わっていない状態だったのです」

「みんなのトイレ」の コンセプト誕生まで

トイレ研究会発足後は、TOTOのセミナーを受け、生徒たちが理想のトイレプランを考えていきました。

「セミナーによって、障がいのある人や、LGBTQの人たちがトイレで困っていることについて知ることができました。誰もが快適に過ごせるトイレのあり方を考えるきっかけになりました」(生徒会)

こうして生まれたのが「みんなのトイレ」というコンセプトです。生徒会は、バリアフリートイ



西舎4階男子トイレ。教室を移動する際、教科書などを置けるよう、いろいろな場所に棚を設置。



西舎4階女子トイレ。手洗いは自動水栓。洗面コーナーの棚は、花を飾りたいという生徒会からのリクエスト。



西舎4階男子トイレの広めブースと小便器。木目調の内装は、生徒たちが選んだ。



西舎4階男子トイレ。小便器は床の清掃性に優れた壁掛自動洗浄小便器。

(右)生徒会の皆さん。(左)左から、林田純平さん、田上智也さんとともに笠松町教育文化課教育文化課。



(右)左から、和田安弘さん(和田建築設計事務所)、水野伊織さん、伴茂樹さん(ともに三翠建設コンサルタント)。(左)左から、岩村雅人さん(サンセキ)、酒井良彦さん(西垣ポンプ設備)。



安藤博之さん(PTA会長・トイレ研究会副会長)。

笠松町教育文化課教育文化課の林田純平さんは『みんなのトイレ』というコンセプトがあったので、さまざまな人が利用しやすいよう、手すりもなるべく多く設置しました」と語ります。手すりを各所につけたのは、避難所になった際に、高齢の方が使用することも考慮したためだといいます。

改修したトイレは、床を乾式に変更するとともに、新たに温水洗浄便座を導入。感染症対策

全員の協力があってこそ実現したトイレ改修

「棚の他、トイレ内の大きな姿見鏡も生徒のアイデアです。」

「内装も、統一感があってきれいだと感じました。また、生徒さんのご要望で、荷物を置く棚も大きくしています。通常は10センチほどですが、笠松中学校では20センチもあるのですよ」

「身体の状態に関係なく使えるトイレを要望しました。」

その後は、設計者が提案したレイアウトをもとに、内装など具体的なデザインを決めていきました。「生徒会の皆さんは、とてもセンスがよかった」と話すのは、設計を担当した和田建築設計事務所の和田安弘さんです。

トイレの完成を祝い、セレモニーが開催された。PTA会長・トイレ研究会副会長の安藤博之さんによる挨拶。



生徒会の任期は1年のうち前期と後期に分かれる。セレモニーの日、引き継ぎ式も行われた。



トイレのお披露目に当たって、古田聖人町長(右)も出席。テープカットの瞬間、歓声上がる場面も。



西舎1階男子トイレ。手洗いは自動水栓と水石けん供給栓。災害時や、けがをした生徒が困らないよう、各所に手すりを設置。



西舎1階男子トイレ。さまざまな利用者を想定し、手すりの他、個室に手洗いも設けた。



トイレ入り口の「みんなのトイレ」のシンボルマークには、笠松町のマスコットキャラクター「かさまるくん」と「かさまるちゃん」が登場。



西舎1階女子トイレ。大便器はすべて温水洗浄便座とセンサースイッチ式洗浄に。



西舎1階女子トイレ内姿見鏡。生徒会の要望を受けて採用した。



西舎1階女子トイレ内掃除用流し。棚やフックを備えて、掃除用具を保管しやすくした。

の観点から、手洗いも自動水栓を採用しました。照明や換気扇も、トイレ入室時に自動でスイッチが入るセンサータイプに変更。笠松町では現在、公共施設の自動水栓化も進めています。

笠松町教育文化部教育文化課の田上智也さんは話します。

「今回の改修は、災害時など、設備に何かあったらすぐに駆けつけていただけるよう、地元の業者さんに入ってもらっています。『完成したから終わり』ではなく、これからも関係を続けていくことができればと考えています」

工事の途中、壁などをすべて剥がしたタイミングで、見学会も実施されました。こうして、2021年12月にトイレ研究会が発足してから、23年2月には改修工事が終了しました。

「時間がないうち、スピーディーに進められたのは、学校現場の声をダイレクトに吸い上げることができたのと、生徒会をはじめ、トイレ研究会の皆さんのおかげです」(田上さん)

今年度は、校舎の西舎のトイレを改修しました。次年度は、北舎の改修工事を進めていく予定です。

「私たちが授業や部活動をしている間も、業者の方が働いてくだ



体育館バリアフリートイレ。オストメイトに配慮した設備や手すりを設けた。淡いグレー調で、清潔感を感じられる空間に。



体育館バリアフリートイレ。サインとともに、ベビーチェアやフィッティングボード、ベビーベッドも備えている。



西舎1階女子トイレ入り口。遠くからでもわかりやすいサインパネル、そして車いすでも入室しやすいよう段差をなくし、ドアレス仕様に。



セレモニーでは、地元の施工業者から学校に清掃用具が贈られた。



贈呈された清掃用具。



生徒会の皆さん。完成したトイレを見て「わあ!」「すごくうれしい」と大はしゃぎ。

さつていたり、理想のトイレを目指して、PTAの皆さんが協力してくださったりと、とても感謝しています」(生徒会)

見ているだけで
わくわくするトイレに

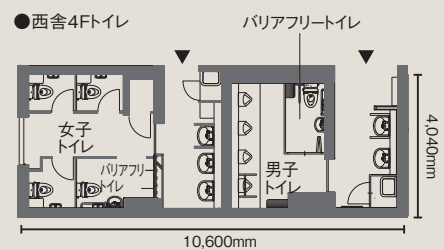
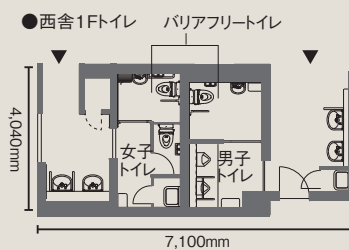
2023年3月13日、トイレの完成を記念して、セレモニーが行われました。新しくなったトイレの前で、テープカットも実施。

近くを通りかかった生徒も「すごいきれい」「早く使いたい」と、学校全体で「みんなのトイレ」のオープンを祝いました。

「壁や天井のデザインを決める際、どんなふうにならざるの想像しづらい部分もあったのですが、完成したトイレはピカピカで、見ているだけでもわくわくしました。満足できるものになったと思っています」(生徒会)

笠松町立笠松中学校 DATA

名称：笠松町立笠松中学校
所在地：岐阜県羽島郡笠松町弥生町1
生徒数：558名(2022年5月)
施工主：笠松町
設計：三翠建設コンサルタント、和田建築設計事務所
施工：西垣ポンプ設備、サンセキ
竣工年月：2023年2月



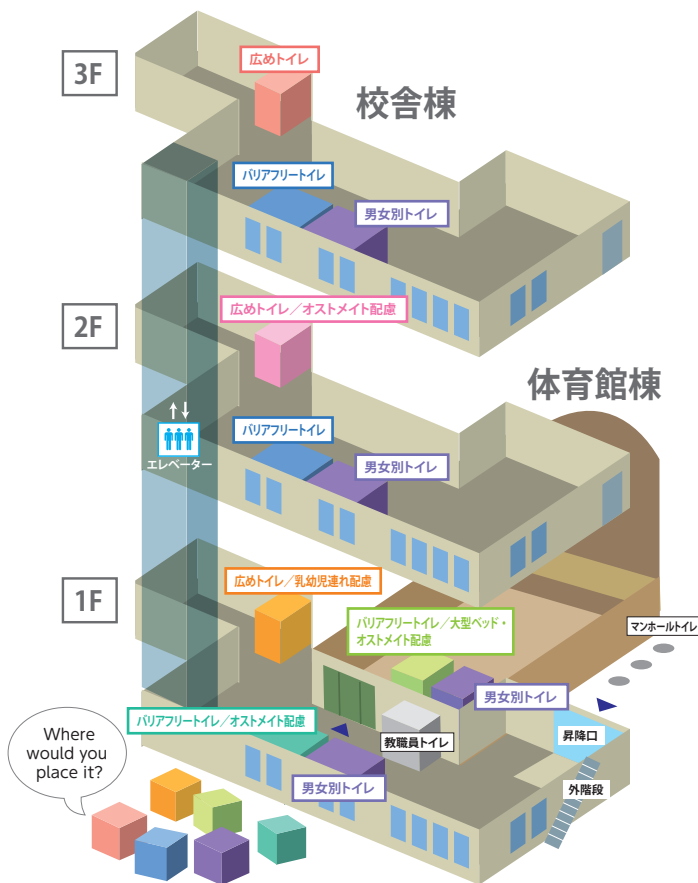
西舎のトイレは特別支援学級の目の前に配置されている。

トイレを機能面から適切に選び、組み合わせ、分散配置するために

学校は児童・生徒のための施設であり、同時に、さまざまな地域住民のための施設でもあります。ここでは学校トイレを機能面から選び、組み合わせることを含めた分散配置を考えてみましょう。

これからの学校トイレのキーワードは機能分散!

校舎や体育館の共用エリアに広めのスペースを確保すると、車いす使用者をはじめ、介助や同伴が必要な人など、多様な人たちの利用につながります。あらゆる利用者のニーズに応えるトイレとすることで、性的マイノリティの安心にもつながります。さまざまなプランの中からトイレを適切に選び、組み合わせ、分散配置することをおすすめします。



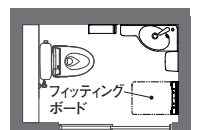
ピクトグラム解説

- 車いす使用者配慮 (Wheelchair user icon)
- オストメイト配慮 (Ostomy care icon)
- 杖使用者および高齢者配慮 (Cane user and elderly icon)
- 乳幼児連れ配慮 (Infant/child with caregiver icon)
- 介助用ベッド (Nursing bed icon)
- 着替え台 (Changing table icon)
- 男女共用トイレ (Unisex toilet icon)
- 男子トイレ (Men's toilet icon)
- 女子トイレ (Women's toilet icon)

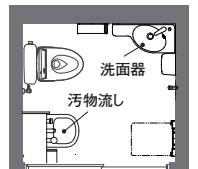
広めトイレ



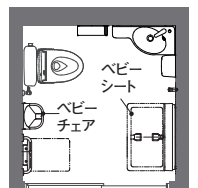
車いす使用者用トイレを設置した上で、性別を問わず誰でも利用できるプランです。



+オストメイト配慮



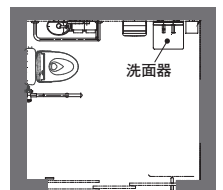
+乳幼児連れ配慮



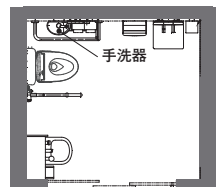
バリアフリートイレ



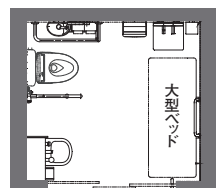
車いす使用者の他にも、知的障がい者・発達障がい者、高齢者など、介助を必要とする人の利用を想定したプランです。



+オストメイト配慮



+大型ベッド・オストメイト配慮



男女別トイレ

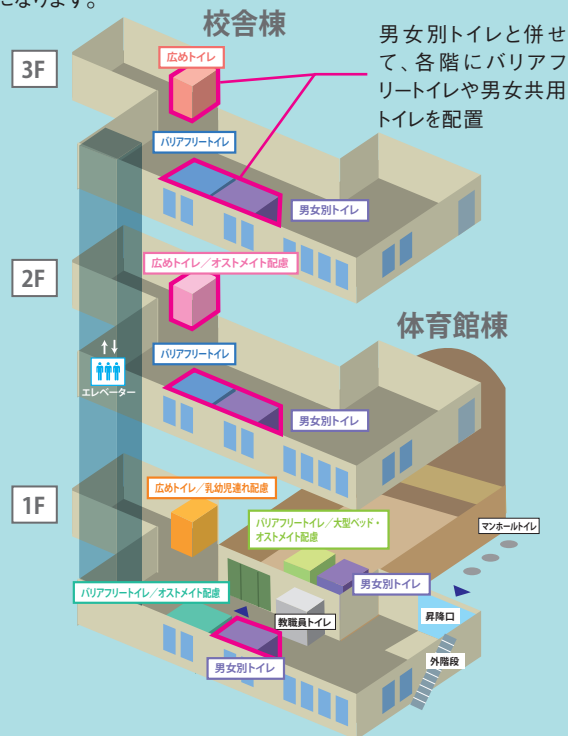


児童・生徒エリアも機能分散の発想でプランニングしよう

トイレが子どもたちのストレスにならないよう、全体を元気になる色合いでまとめた、カラフルで楽しい雰囲気のプランです。「自分たちのトイレ」という意識が高まり、長く大切に使い続けられるようになります。



●男女別トイレとバリアフリートイレを併設したプラン例



男女別トイレと併せて、各階にバリアフリートイレや男女共用トイレを配置

トイレ計画は学校全体で考える
多様性配慮と分散配置がカギ

学校のトイレ計画は、校舎の全フロアや体育館などすべての施設の中で総合的に考えていく必要があります。前ページでは、主に共用エリアにおけるトイレの分散配置のアイデアを紹介しました。

そこで主役となるのは、利用者である児童・生徒をはじめ、地域の人たちであり、障がいのある方や要介助者、高齢者や乳幼児連れ、性的マイノリティなど、実に多様な人たちの存在を尊重しなくてはなりません。

また、児童・生徒の中にも、障がい者やオストメイト、性的マイノリティは存在します。現時点で在籍していないからといって、この先もずっといないとは限らず、今後どのような支援が必要になるかわからないのです。そして、その子たちがトイレに対してどのような不安を抱えているかを理解するのも難しいかもしれません。

例えば、小学校全体では発達障がいの可能性のある子が10・4%に上るとされています。発達障害・自閉症スペクトラムの子は外出先のトイレに行くのを怖がる傾向があり、その理由もさまざまです。

「インクルーシブ教育」は障がいのある子もいない子も、支援のもとで共に学ぶシステムです。これを打ち出す文部科学省によって、小中高校と特別支援学校の一体化運

営が2024年度にも試行されようとしています。

このため、各階の児童・生徒エリアにも、男女別トイレと併せ、広さのあるバリアフリートイレや男女共用トイレの併設をおすすめしています。いつ誰が必要となるか、今後どんな子どもが就学するかわかりません。また、特別支援教室が何階に来てもいいように、将来の受け入れに備えて、1カ所だけでなく各階に設置することが望ましいとされています。

バリアフリートイレは、校舎の1階と体育館に設置すれば解決するというものではありません。介助者と一緒に入れるトイレ、乳幼児連れの機能を備えたトイレ、性別にかかわらず利用しやすい男女共用トイレなど、適切な機能を選択して組み合わせ、かつ分散配置することが最も正解に近いように思えます。その上で、限られたスペースを有効に活用しながら、学校施設全体を整備していくことが期待されているのです。

学校関係者は、一度これまでの学校トイレの固定観念を壊す必要があるのかもしれない。学校トイレは、ここで分類したエリアの違いを問わず、より多様な人たちへの配慮が求められています。また、機能面の充実にとどまらず、適正な分散配置計画や、将来を見据えて柔軟に変化・対応できる仕掛けや備えなど、あらゆる利用者との対話を反映したものでなくてはならないでしょう。



ベンチ・清掃用具スペース

トイレは子どもたちのコミュニケーションの場です。友達とおしゃべりを楽しんだり、荷物を置いたりできるベンチを設置しましょう。トイレの快適な環境を維持し、長く使い続けるためには、大切に使い、清掃・管理することが重要です。清掃用具入れは通風と明るさを確保し、フックや棚にラベルを貼るなど、整理整頓しやすい工夫をしましょう。



バリアフリースイートイレ

さまざまな児童・生徒の受け入れに備え、各階にバリアフリースイートイレがあれば安心です。車いすでもアプローチしやすく、オストメイトに配慮した汚物流しを設置します。

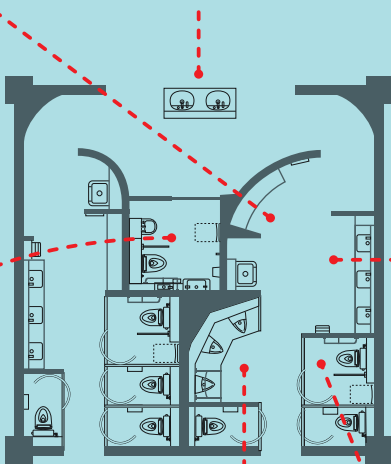
*男女共用トイレについて

ダイバーシティの観点から、児童・生徒エリアには以上の他に「男女共用トイレ」があるとより安心です。保健室の近くや特別教室の近くなど、友達の目を気にせず誰もが行きやすい場所に1カ所ではなく、できれば2カ所ほど設置できるとよいでしょう。



エントランス

明るく開放的な入り口の演出。人感センサー式照明で、子どもの在・不在が外からわかって安心です。入り口のスペースに手洗いコーナーを設置することで、トイレに入らなくてもしっかり清潔に手洗いができます。



洗面コーナー

児童・生徒の体格に合った高さの洗面をはじめ、姿見を設置し、照明で明るさを確保します。水はねが多く、人の手がよく触れる壁面は、清潔性に優れた大判のメラミン化粧板がおすすめです。



小便器コーナー

小便器は角度をつけた壁に設置し、隣の視線が気になりにくい配置とします。足元には、光触媒抗菌・防汚・防臭効果のある汚垂れ石を設置。人の行き来が多い床材には、耐久性に優れた超防汚性ビニル床シートがおすすめです。



広めトイレ(大便器ブース)

ドアは出入りがスムーズな回転式タイプがおすすめです。広めのトイレスペースは、支援や見守りが必要な児童・生徒はもちろん、けがをしている場合にも使いやすく安心です。教室や更衣室での着替えに抵抗があるときにも使用できます。

研究会とは?

児童・生徒が安心して使える清潔で快適なトイレを具体的に提案・普及していくことを目的に、毎年研究誌を発行し、各種講演会を実施するなどの活動を継続しています。

今あるものをそのまま活かす、
エコメンテナンス

キレイなトイレに蘇る クリーニング工法

日常生活に不可欠なトイレ。弊社は「使う人の身になったとき、何を提供できるか」を、考え方の原点としております。

トイレを蘇らせる特殊清掃に加え、施工後の実技研修を通して、トイレをキレイに維持するメンテナンスアドバイス等も行っております。

さまざまな制約の中でも、学校のトイレを変えたいというニーズを実現するクリーニング工法です。

トイレの「キレイ」を創る会社

根本的クリーニング&メンテナンスで
学校トイレの“今”と“これから”を変える



臭い・汚れを
原因から改善

施工後の清掃
研修まで可能

今を活かした
エコ改修

さわやかなトイレ環境を創造する
株式会社 木村徳太郎商店

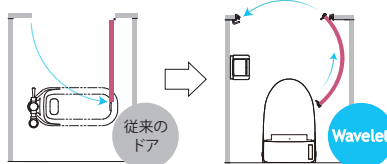
株式会社木村徳太郎商店

〒112-0004 東京都文京区後楽2-5-1
03-3811-2919
<http://www.toku-kimura.co.jp/>

感染症対策・避難所対策の
学校トイレを提案

学校トイレの洋式化に 最適なトイレブース

学校向けトイレブース「ウェイブレット」は、ドアが円周上をスライドするので、和式トイレと同じスペースで洋式化が可能な省スペース設計。内引きで、ドアをよけることなく開閉でき、出入りもスムーズ。車いす対応タイプも品揃え。バリアフリー化にも対応、感染症対策・避難所対策としての学校トイレ洋式化改修に最適です。



和式トイレと同じスペースで洋式化が可能



人を想い、場を創る。

OKamura

株式会社オカムラ
建材製品部

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4-1
ニューオータニガーデンコート24F
03-5501-3396
<https://www.okamura.co.jp/>

毎年1,000校以上の学校で
採用される信頼性

清潔、快適なトイレ創りに 最適な壁装材

学校トイレの壁面仕上げ材の定番「セラール」。多彩な色柄に加え、硬く、強く、お手入れも簡単。きれいなトイレ空間を長く保つことができます。

さらに、抗ウイルス・抗菌・消臭性能を持つセラールウイルテクトPlusは清潔感と快適性の維持のお役に立ちます。

既存のタイル下地を活用する「セラール ON タイル工法」は20年以上の実績。改修工事の工期短縮、廃材や騒音などの環境負荷も低減します。



山村学園短期大学

AICA

アイカ工業株式会社
営業企画部

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-6
住友商事錦町ビル4F
03-5282-1050
<https://www.aica.co.jp>

編集後記

研究誌26号をお読みいただきありがとうございます。と、ございました。

新型コロナウイルス感染症が少しずつ落ち着き、今号は3年ぶりに学校での取材をさせていただくことができました。子どもたちはマスク姿でしたが、明るい挨拶と元気に走り回っている様子を見て少しほっとしました。

取材をしていると、子どもたちが毎日安心してきれいで快適なトイレを使える環境であってほしいと切に願うばかりです。災害時の避難所や、地域のコミュニティ活動などでも学校施設が利用される中、皆様のご家族、ご近所の学校の現状はいかがでしょうか。今回の取材でも、学校トイレの整備が進んでいることを感じましたが、全体ではまだまだ改善が必要です。

この研究誌が、トイレを含めた学校施設の環境改善施設向上に少しでもお役に立てれば幸いです。

最後に、取材ならびにアンケートにご協力をくださった皆様、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



学校のトイレ研究会本部

学校のトイレ研究会
中島薫

学校のトイレ

当研究会は学校トイレの実態をソフト・ハードの両面にわたって調査・研究することにより、トイレ関連企業により1996年11月に発足いたしました。発足以来、

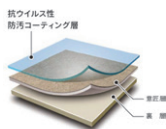
快適でメンテナンスしやすい 学校トイレのために

乾式トイレに最適なビニル床シート 「サニタリウム アルファ」

厚く均一なコーティング層が、優れた超防汚性や耐尿汚染性に加え、抗ウイルス性も付与。尿による汚れやシミ、トイレ用洗浄剤からの変色を防ぎます。

また、ワックスなしでも汚れがつきにくく、汚れが付着しても落としやすいビニル床シートです。デザインも抽象柄をはじめ、繊維調、木目柄など豊富な柄をご用意いたしました。

「サニタリウム アルファ」は、乾式清掃を行うトイレに最適な超防汚抗ウイルス性ノーワックスビニル床シートです。



ロンシール工業株式会社

ロンシール工業株式会社

〒130-0021 東京都墨田区緑4-20-7
アステ21 6F
03-5600-1803
<https://www.lonseal.co.jp/>

感染対策の基本は 正しい手洗い習慣から

健康と持続可能な社会を考えた エコマーク認定手洗い石けん液

感染症や食中毒は、不十分な手洗いによって広がります。トイレの後や食事の前に、「液体の手洗い石けん」を使った正しい手洗いを習慣づけることはとても大切です。

資源を無駄にしないため、原料にリサイクル食用油を使い、資源や廃棄される食用油を削減し、持続可能な社会づくりと健康を守るためになくはならない手洗い用液体石けんとして「再生油をつかったエコ・ハンドソープ」をおすすめいたします。

◎「エコマーク認定」商品



エコマーク認定 手洗い石けん
再生油をつかったエコ・ハンドソープ 18kg



ミッケル化学株式会社

ミッケル化学株式会社

〒556-0016 大阪府大阪市浪速区
元町1-11-21
06-6634-5290
<https://micheel.co.jp/>

子どもたちが安心して学べる トイレ環境のリモデル

自動水栓で非接触 節水効果も抜群

手を差し出すだけで吐水する「自動水栓」は手洗いの際、器具に触れることなく水を出し止めできます。蛇口まわりが汚れにくく、水の止め忘れも防げる、衛生的で経済的な水栓です。



発電タイプは水の流れを利用して発電した電量を蓄電します。電源確保が不要なため、改修にもおすすめです。

また、乾電池一体タイプなら、既設の単水栓を省施工で自動水栓に交換可能。廊下にある長流しを非接触タイプに替える際などにおすすめです。



既設の水栓を外します。



自動水栓を差し込みます。

※写真は壁付タイプ。台付きタイプもあります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。
TOTO

TOTO株式会社
プレゼンテーション企画グループ

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-1-5
JR南新宿ビル 6F
03-5309-2007
学校トイレに関する情報・カタログはこちら
<https://www.com-et.com/>

学校のトイレ研究会研究誌 26号

トイレが変わる、トイレで変わる

学校トイレの 挑戦!

発行日/2023年(令和5年)6月29日

*無断で本誌の全体、または一部の複写・複製・掲載を禁じます。
*本誌の著作権はすべて「学校のトイレ研究会」に帰属します。

●編集・発行

学校のトイレ研究会
アイカ工業株式会社 株式会社オカムラ 株式会社木村徳太郎商店
TOTO株式会社 ミッケル化学株式会社 ロンシール工業株式会社

●事務局

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-1-5 JR南新宿ビル6F TOTO株式会社内
TEL: 03-5309-2007

●編集委員

アイカ工業株式会社 金川元勇 上田哲哉 團野智史 富田栄一
株式会社オカムラ 西村たか子 加藤真也 阪本晴一 井上豊
株式会社木村徳太郎商店 木村基治 山本準矢
TOTO株式会社 富岡千花子 河村浩 中島薫
ミッケル化学株式会社 大久保貴喜 江川周平 李若瑄 中西真人
ロンシール工業株式会社 川上浩昭 細谷地政人

●制作協力

共同印刷株式会社

●編集協力

柴山幸夫(有限会社デクスト) 土橋水菜子(neem)

●デザイン

梅田岳定(有限会社ファイブ)

●撮影

鶴澤昭彦(有限会社スタジオ・パワー)

●印刷・製本

真生印刷株式会社

●表紙写真

笠松町立笠松中学校(23~26ページ掲載)

学校のトイレ研究会研究誌

トイレが変わる、トイレで変わる

学校トイレの挑戦!

学校のトイレ研究会

学校のトイレ研究会は、学校のよりよいトイレ環境づくりをめざして、トイレ関連企業が結集し、1996年に発足しました。以来、各社の情報力、技術力を活かしながら、調査・研究・啓発活動を継続しています。

学校のトイレ研究会研究誌

学校のトイレ研究会は、学校トイレづくりの調査・研究の成果をまとめた研究誌を毎年、発行しています。ホームページで閲覧、取り寄せができます(無料)。



学校トイレ ノウハウブック

学校のトイレ研究会発足以来、調査研究を重ねてきた知見をベースに、空間建材・設備・清掃メンテナンスのあり方や具体的なノウハウをまとめた一冊。ホームページで閲覧、取り寄せができます(無料)。



学校のトイレ研究会ホームページ

<https://school-toilet.jp>

学校トイレ 🔍 で検索



学校のトイレづくりに役立つ、さまざまな情報を掲載しています。

- 学校のトイレ研究会研究誌
- 学校トイレ改修事例
- トイレづくりのポイント
- 清掃・メンテナンス方法

